

# 令和元年度事業評価 課別評価シート

## 【区民部 区民課】

### 目次

1 各事業の進捗管理	P. 1
2 【地域コミュニティ】分野の事業の評価	P. 3
3 【交流】分野の事業の評価	P. 5
4 【住環境】分野の事業の評価	P. 6

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
地01-01	町会・自治会活動の支援
地01-02	地域活動センター・区民会館の整備
地01-03	地域活動センター運営の充実
地01-04	ふれあいサロン事業
地05-01	新たな公共の担い手との協働の推進
交02-01	山村体験交流事業
住06-01	コミュニティバス運行

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化</li> <li>○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化</li> <li>○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度<br/>(事業実績の推移)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方<br/>(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付</li> <li>・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮</li> <li>・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など</li> </ul> |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- |                                |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの  | 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの |
| 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの | 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの      |
| 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの        | 終了済 → 昨年度までに終了した事業          |

# 1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号		事業名		中間アウトカム			
地01-01		町会・自治会活動の支援		地域コミュニティ(A)	地域コミュニティ(B)		
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	町会・自治会加入率	%	—	65.8		66	68
	事業費(千円)		41,595	41,197			
		行政コスト(千円)	—	—		進捗の課題	有
		所要人員	4.518	2.726			
進捗の課題と改善策		町会・自治会の加入率は、3年に一度の世論調査により推計しており、平成24年度65.0%、平成27年度66.4%、平成30年度は65.8%と横ばいの傾向にあります。平成30年度に改訂を行った加入促進ポスター・パンフレットの積極的な活用を図るとともに、文京区町会連合会と不動産事業者との事業連携等の取り組みを支援していきます。					

事業番号		事業名		中間アウトカム			
地01-02		地域活動センター・区民会館の整備		地域コミュニティ(A)			
			H29	H30	H31		
主な取組	地域活動センターの機能充実を図るため、介護老人保健施設と複合した音羽地域活動センターの施設整備を行いました。また、区民の集会の場を提供するため、障害者施設と複合した本郷会館の施設整備を行いました。		区民の集会の場を提供するため、障害者施設と複合した動坂会館の施設整備を行いました。				
	事業費(千円)		176,203	34,958			
		行政コスト(千円)	—	—			
		所要人員	1.154	0.736			
進捗の課題		無	進捗の課題と改善策				

事業番号		事業名		中間アウトカム			
地01-03		地域活動センター運営の充実		地域コミュニティ(A)			
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	地域活動センターの利用人数	人	418,448	432,378		850,826	1,249,500
	地域活動団体懇談会の実施	回	1	1		2	9
		事業費(千円)	95,792	98,691			
		行政コスト(千円)	—	—		進捗の課題	有
		所要人員	6.922	42.362			
進捗の課題と改善策		利用人数については増加傾向にありますが、地域コミュニティ施設として機能強化を図るため、地域活動団体打合せスペースの有効活用について、引き続き検討していきます。 懇談会については、30年度は新たな地域での実施を検討しましたが、地域活動団体と企業等に共通するニーズをうまくマッチングすることができず、新たな開催に至りませんでした。地域活動団体や企業等ニーズを、より詳細にリサーチしながら地域課題の解決につながる懇談会の開催を目指していきます。					

事業番号		事業名		中間アウトカム			
地01-04		ふれあいサロン事業		地域コミュニティ(A)			
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	地域の人材を活用した講座の実施	所	7	7		14	23
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連した事業	所	1	1		2	9
		事業費(千円)	6,312	7,092			
		行政コスト(千円)	195,262	—		進捗の課題	無
		所要人員	45.173	0.341			
進捗の課題と改善策							

事業番号		事業名			中間アウトカム			
地05-01		新たな公共の担い手との協働の推進			地域コミュニティ(B)	地域コミュニティ(A)		
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画		
主な取組	どっとファミコムへの掲載団体数	団体	255	208		463	600	
	提案公募型協働事業実施数	件	0	1		1	3	
事業費(千円)			9,500	12,101		進捗の課題	無	
行政コスト(千円)			-					
所要人員			0.060	0.099				
進捗の課題と改善策								

事業番号		事業名			中間アウトカム			
交02-01		山村体験交流事業			交流(A)			
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画		
主な取組	山村体験交流事業	回	18	20		38	66	
	事業費(千円)			933	1,383		進捗の課題	有
行政コスト(千円)			-	-				
所要人員			0.579	0.690				
進捗の課題と改善策		スキー場管理組合の外、魚沼市観光協会とも交流事業に関する協定を締結し事業を開始しましたが、新しい企画提案が少ない状況です。新たな企画ができるよう、意見交換など働きかけを行っていきます。						

事業番号		事業名			中間アウトカム			
住06-01		コミュニティバス運行			住環境(D)			
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画		
主な取組	コミュニティバスの利用促進(千駄木・駒込ルート)	人	495,794	484,034		979,828	1,522,500	
	コミュニティバスの利用促進(目白台・小日向ルート)	人	445,973	449,469		895,442	1,349,400	
事業費(千円)			42,481	30,252		進捗の課題	有	
行政コスト(千円)			48,484					
所要人員			1.237	1.917				
進捗の課題と改善策		Bーぐるマップの配付箇所に加え、区外の観光案内所を加えるなど、Bーぐるの認知度向上を図りました。その結果、目白台・小日向ルートは増加傾向にありますが、千駄木・駒込ルートの利用者数は、28年度以降、2年連続の減少となっています。周知箇所の更なる拡大など、各種PR活動を強化するとともに、路線の最適化も含めたサービス及び利便性の向上策を検討し、新規利用者の獲得に努めてまいります。						

## 2 【地域コミュニティ】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【区民部 区民課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

### 基本構想実施計画

中項目	<b>3-1 地域コミュニティ</b>
将来像	<b>みんなが集う、おせっかいのまち</b>

### 中間アウトカム (A)

### 区民が地域活動に参加・参画している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
地01-01	町会・自治会活動の支援	区民課	町会・自治会への加入が促進され、活発な地域活動が行われている	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容		長年地域コミュニティ活動の中心的な役割を果たしている町会・自治会の活動を支えていくことが重要です。しかしながら、町会・自治会内には高齢化や担い手不足により、新たな事業展開が難しくなっているという課題もあります。今後も地域活動への参加や担い手の世代交代を促進するため、加入促進活動を一層支援していく必要があります。新たな転入者、特にマンション住民に町会の様々な活動や役割を理解してもらい、加入を促進するための新たな取り組みを引き続き検討していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況		地域活動の中心的な役割を果たしている町会・自治会の活動を支えるとともに、町会の様々な活動を周知して区民の参加の機会を増やし、新たな担い手として町会への加入につなげていくことが重要です。平成30年度は、加入促進パンフレットとして、町会区域図を作成しました。また、重要な地域の情報発信の場である町会掲示板の建て替え等に対し、平成29・30年度に補助をおこないました。		
	課題及び今後の方向性の内容		町会・自治会における地域コミュニティの活性化を図るためには、町会・自治会の加入率の増加が求められますが、加入率は平成24年度調査からほぼ横ばい状態です。町会・自治会への加入を促進するため、加入促進パンフレット・ポスターの積極的な活用を図るとともに、文京区町会連合会と不動産事業者との事業連携等の取り組みを支援していきます。また、町会・自治会のおこなう活動とその情報発信について支援し、より多くの区民が町会・自治会の活動に触れ、参加する機会が増えるよう取り組みをおこなってまいります。		
地01-02	地域活動センター・区民会館の整備	区民課	地域コミュニティの拠点としての機能が充実し、活発な地域活動が行われている	現状維持	現状維持
地01-03	地域活動センター運営の充実	区民課	地域コミュニティの拠点としての機能が充実し、活発な地域活動が行われている	拡充	改善・見直し
	前回の評価結果の内容		地域活動の拠点としてより多くの区民に利用してもらうための方策を検討するとともに、地域の課題を解決するための交流の場としても活用していきます。なお、29年度は地域活動団体懇談会を向丘地域活動センターでモデル実施しました。今後は他の地域活動センターにおいても実施し、地域課題の解決を図っていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況		30年度も地域活動団体懇談会の実施を検討しましたが、地域活動団体と企業等に共通するニーズをうまくマッチングすることができず、新たな地域での開催に至りませんでした。しかしながら、前年度に実施された懇談会で生まれた繋がりがきっかけとなり、懇談会参加団体が当該地域で長年実施されているイベントに初参加し、地域での交流の促進につながりました。		
	課題及び今後の方向性の内容		今後の地域活動に繋がる有意義な懇談会を実施するためには、地域活動団体等と企業等の双方が共通認識できるテーマを設定することが重要です。引き続き、地域活動団体や企業等における課題をより詳細にリサーチし、地域の交流を促進し、地域課題の解決につなげていきます。また、地域コミュニティ施設として機能強化を図るため、地域活動団体打合せスペースの有効活用について引き続き検討していきます。		
地01-04	ふれあいサロン事業	区民課	あらゆる世代が気軽に交流し、地域活動を担う人材が発掘・育成されている	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容		地域活動への参加のきっかけとなるような講座を実施していくことが重要です。しかしながら、現在、生涯学習に類するサロンが多く実施されていることから、各講座の内容や実施方法等を見直し、地域活動への参加のきっかけとなるような講座を展開していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況		30年度はサロン事業の現状分析を行うとともに、ふれあいサロン事業の本旨を再確認し、地域活動への参加のきっかけとなるような事業の実現に向け、今後の方向性等の検討を行いました。		
	課題及び今後の方向性の内容		生涯学習に類する講座が事業の多数を占めているため、31年度は地域活動団体等と連携しながら、各地域活動センターの施設特性やエリア特性を活かした講座を実施し、地域活動への参加のきっかけを築いていきます。		

地05-01	新たな公共の担い手との協働の推進	区民課	NPOや事業者などと協働して様々な地域課題の解決が図られている	改善・見直し	現状維持
前回の評価結果の内容	地域活動に意欲のある区民が主体的に活動に参加・参画できる機会を増やしていくことが重要です。そのため、区と社会福祉協議会の連携を一層深め、NPOや事業者等の行う地域活動情報の提供や地域活動へのきっかけとなるような各種イベント・講座の開催等により、区民が地域活動に参加・参画するきっかけづくりに取り組んでいきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	区と社会福祉協議会との間で連携を図りながら、地域連携ステーション「フミコム」において、新たな担い手を発掘・育成するための各種講座やイベント、専門相談等を実施し、地域活動への参加のきっかけづくりとなる事業を展開しました。				
高福03-02	小地域福祉活動の推進	福祉政策課	地域での悩みや課題を、住民同士で支え合いながら、解決を図っている		
地04-01	「文京バックアップーズ」～大学生ボランティアのススメ～	アカデミー推進課	大学生等がボランティア活動に積極的に参加している		

## 中間アウトカム(B)

## 多様な主体が、地域課題の解決に向け、活動している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
地01-01	町会・自治会活動の支援	区民課	町会・自治会への加入が促進され、活発な地域活動が行われている	改善・見直し	改善・見直し
前回の評価結果の内容	町会・自治会内では、その中心を担う役員等の高齢化や担い手不足という課題があります。活発な地域活動を行うには、町会等の役員だけで解決することが難しくなっている町会等もあります。今後も地域活動への参加や担い手の世代交代を推進するため、新たな転入者、特にマンション住民に町会の様々な活動や役割を理解してもらい、加入促進活動を一層支援していく必要があります。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	町会・自治会は地域課題を把握し、横断的な取り組みを行っている一方で、その中心を担う役員等の高齢化や担い手不足という課題があります。町会が活発な地域活動や地域課題の解決に向けた取り組みを行うためには新たな担い手の加入促進が重要です。町会加入のきっかけとなるよう、加入促進パンフレットを転入者窓口にて配布をおこなっています。また、担い手不足を含めた町会の抱える課題解決のため東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣事業」を活用しました。				
課題及び今後の方向性的内容	町会・自治会内では、これまでも、活動の中心を担う役員等の高齢化や担い手不足という課題があります。平成30年度の世論調査によると町会活動に「参加したい」「機会があれば参加したい」と考える人は4割を超えています。これらの人々に町会活動に参加してもらい、町会の加入につなげてもらうため、町会が行っている活動を支援し、その活動や地域課題についての情報発信を引き続き支援していきます。				
地05-01	新たな公共の担い手との協働の推進	区民課	NPOや事業者などと協働して様々な地域課題の解決が図られている	改善・見直し	現状維持
前回の評価結果の内容	地域課題解決に向けて、区が想定する課題と実際に地域活動を行っているNPOや事業者等が取組を希望する課題のマッチングが重要となります。子どもの貧困対策をはじめとする地域活動団体の取組を引き続き推進していくとともに、NPOや事業者等の現状をリサーチしながら社会福祉協議会との連携を一層深め、多様な主体との連携を推進していきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	社会福祉協議会がこれまで築いてきたNPOや地域活動団体との繋がりを活用することで、区が把握する地域課題の解決に取り組む意欲・能力がある団体とのマッチングが実現できました。				
高福03-02	小地域福祉活動の推進	福祉政策課	地域での悩みや課題を、住民同士で支え合いながら、解決を図っている		
学01-01	大学連携の推進	アカデミー推進課	大学の特性を生かし、地域課題の解決が図られている		
災対04-03	災害ボランティア体制の整備	福祉政策課	発災時に適切に機能する災害ボランティア体制が構築されている		

### 3 【交流】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【区民部 区民課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

#### 基本構想実施計画

中項目	<b>3-7 交流</b>
将来像	<b>交流の輪を広げ、互いの魅力を高め合うまち</b>

#### 中間アウトカム (A)

**国内外の地域との交流が進み、互いの文化等の理解が深まり、相互の地域振興が図られている**

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
交02-01	山村体験交流事業	区民課	区民が自然とふれあい、地域住民との交流を深めている	現状維持	現状維持
文01-02	協定締結都市等との文化交流事業	アカデミー推進課	住民レベルの交流が活発に行われ、相互理解が深まっている	/	
交02-02	国内交流の推進	アカデミー推進課	住民レベルの交流が活発に行われ、相互理解が深まっている		
交02-03	海外都市との交流事業	アカデミー推進課	文化交流等を通じ、相互理解が深まっている		
交04-01	外国人参加型交流事業	アカデミー推進課	地域の事業に外国人が参加し、区民との相互理解が深まっている		

## 4 【住環境】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【区民部 区民課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

### 基本構想実施計画

中項目	<b>4-1 住環境</b>
将来像	<b>だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち</b>

### 中間アウトカム (D)

### 移動しやすい交通環境が整備されている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
住06-01	コミュニティバス運行	区民課	交通の利便性が高まっている	改善・見直し	改善・見直し
前回の評価結果の内容	公共交通に関する区民ニーズを把握していくことが重要となります。そのため、29年度に実施したコミュニティバスBーぐる課題分析報告書で示された課題に対する詳細分析を実施するとともに、沿線協議会等の意見を参考にしながらサービスや利便性の向上を進め、利用者数の増を図っていきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	サービスや利便性の向上に向け、29年度に実施したコミュニティバス課題分析報告書で示された課題に対する詳細分析を行い、引き続き検討を行っています。また、沿線協議会の意見を参考に、乗換案内ツールの多様化に向けた取り組みに着手しました。				
課題及び今後の方向性の内容	千駄木・駒込ルートの利用者数は2年連続の微減となりました。報告書の分析結果を基に、新路線の導入に向けた準備に着手するとともに、既存路線のサービス及び利便性の向上に努めていきます。				
観04-02	自転車シェアリング事業実証実験	管理課	自転車シェアリングが新たな公共交通手段として定着するか可能性を検証する		
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている		
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている		
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		
安03-05	自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		



## 評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

### 【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

### 【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分